

| | |
|------------|---|
| Title | 形容詞「明るい」と「暗い」について(二〇〇七年度卒業論文要旨集) |
| Author(s) | 鉢呂, 宏太 |
| Citation | 札幌国語研究, 13: 55-55 |
| Issue Date | 2008 |
| URL | http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/dspace/handle/123456789/2501 |
| Rights | |

形容詞「明るい」と「暗い」について

日本語学研究室 一一〇七 鉢呂 宏太

形容詞「明るい」と「暗い」は反義語であり、対になる言葉である。「明るい」と「暗い」は言い換えても意味が逆となり成立する。しかし、ときに「明るい」と「暗い」の言い換えができなくなる、またはしにくくなる場合がある。本研究は、「明るい」と「暗い」の使われかたの違いを、意味構造の違いに注目し、二つの形容詞を比較することで明らかにすることを目的とした。

まず、「明るい」と「暗い」の複数の多義的別義を認定し、その中からプロトタイプの意味を認定し、それらの間の関係がメトニミーと比喩的転義によるものであることを示した。その後、「明るい」と「暗い」を比較した。その結果、プロトタイプの意味に差があり、そこから、「明るい」に比べて「暗い」の方が表すことのできる明暗の度合いの範囲が広いことがわかった。

「暗い」には（人に隠したいような）やましい所がある」という多義的別義が認定できたが、「明るい」にはこれに対応する多義的別義は認定できず、このことが「明るい」と「暗い」の言い換えが成立しなくなる場合を生じさせていることを示した。また、「明るい」に比べて「暗い」が未来のことを表すときに用いられにくいことを示し、そのことが「明るい」と「暗い」の言い換えがしにくい場合を生じさせていることを示した。